

NPO法人兵庫脊椎脊髄病医療振興機構(HOSD) NPO法人国際頸椎学会日本機構(CSRS-J)

神戸大学医学部整形外科学教室

第16回市民公開講座

「首と腰の悩み」市民講座

**骨粗鬆は予防が大事です。
放っておくとこんなに大変です！**

神戸大学医学部整形外科学教室 講師

西田康太郎
にしだ こうたろう



**「頸椎症」による「脊髄症」の対処法
手術？保存治療？経過観察？**

独立行政法人労働者健康安全機構 神戸労災病院 院長
(特定非営利活動法人兵庫脊椎脊髄病医療振興機構 理事長)

鷺見正敏
すみ まさとし



開催日時：平成28年7月10日(日)

午後14時～16時(13時30分開場)※質問タイムあり

開催場所：神戸大学医学部医学部会館シスメックスホール

神戸大学医学部附属病院敷地内(附属病院正面玄関左側の建物です)

※神戸市営地下鉄「大倉山」駅下車 徒歩約5分

※JR「神戸」駅から神戸市バス 9、110、112系統

●参加料：無料 ●事前申込：なし(先着：200名)

**共催：NPO法人兵庫脊椎脊髄病医療振興機構(HOSD)
NPO法人国際頸椎学会日本機構(CSRS-J)
神戸大学医学部整形外科学教室**

第16回市民公開講座 「首と腰の悩み」市民講座

平成28年度で最初の市民講座になります。開設以来16回目ともなり、これまで多くの方にご支援いただきながら何とかここまで来ることができました。皆様、特に市民会員の方々には深謝申し上げます。これから、さらに発展させながらも、もう少し趣向を変えて行きたいと存じますが、そのとっかかりとして、今回は神戸大学との共催という形で、神戸大学医学部附属病院敷地内にありますシスメックホールに場所を移すことになりました。今までの三宮より少し西に位置することになりますが、神戸市地下鉄の大倉山駅、阪急・阪神・山陽電鉄の高速神戸駅、JR神戸駅からのアクセスは良好ですので、ぜひ、ご参加下さい。

講演は、神戸大学の西田先生が骨粗鬆症の予防とそれが進行することで大変な状況になることについて説明いただきます。また、その後、私が「頸椎症」による「脊髄症」になった患者さんに対する医者の対応の仕方や考え方について説明させていただきます。少し、形態などを変更して参りますが、今までよりも、楽しくなごやかに、大きく広がりのある「つどいの場」にできればと考えていますのでお願い申し上げます。

(理事長：鷺見正敏・神戸労災病院院長)

骨粗鬆は予防が大事です。 放っておくとこんなに大変です！

講師：西田康太郎(にしだ こうたろう)

神戸大学医学部整形外科学教室 講師

骨粗鬆症という言葉はよくご存知だと思いますが、放っておくとどうなるかご存知でしょうか？背骨が弱くなると、簡単に骨折を生じる結果となり、寝たきりの原因になってしまいます。一つ骨折が生じると、次の骨折が生じる確率は2.6倍にもなります。

重症型の骨折を生じると脚の麻痺や排尿・排便障害の原因になり、手術が必要になってしまいますが、骨がもともと弱いわけですから手術も大変です。複数の骨折は背骨の変形をきたし、頑固な腰痛や歩行障害の原因にもなります。本日は骨粗鬆を放っておくとどうなるか、少し怖いお話をさせていただきます。

JR「神戸」駅から神戸市バス 9, 110, 112系統



「頸椎症」による「脊髄症」の対処法 手術？保存治療？経過観察？

講師：鷺見正敏(すみ まさとし)

独立行政法人労働者健康安全機構
神戸労災病院 院長

(特定非営利活動法人兵庫脊椎脊髄病医療振興機構
理事長)

「頸椎症」という言葉は、一般の方の中でもよく浸透してきたようですが、正しい意味については、なかなか理解いただけないように思います。今回の講演ではこの「頸椎症」という言葉の意味と、それによって発生する重大な病気である「脊髄症：せきずいしょう」について説明します。また、一番、大事なことなのですが、脊髄症をきたしてしまった人に対して、どう対処するべきかについて、現時点で解っている範囲で説明したいと思っています。

●参加料：無料 ●事前申込：不要(先着200名)

※お問合せ先：TEL:090-4645-4595 E-mail:hosd110301@hosd.or.jp

日時：平成28年7月10日(日) 午後14時～16時(13時30分開場)

場所：神戸大学医学部医学部会館シスメックスホール 神戸大学医学部附属病院敷地内

※神戸大学医学部附属病院正面玄関左側の建物です。神戸市営地下鉄「大倉山」駅徒歩約5分

共催：NPO法人兵庫脊椎脊髄病医療振興機構(HOSD) NPO法人国際頸椎学会日本機構(CSRS-J) 神戸大学医学部整形外科学教室